### 図書館ニュース

### ◆大行寺分館の図書館フェア「第1回 かもめの書」が始まりました!

分館が選ぶおすすめの所蔵文庫百冊キャンペーンを行いました。

展示タイトルは「僕をぼっちにして欲しい。」市内在住の書道家・倉持玄風先生に揮毫していただきました。 また、地階展示スペースにて、玄風先生と本学写真サークル「ゼロサムクラブ」のコラボレーション展を 開催中です。是非お立ち寄りください。

### 分館がおすすめする文庫百冊ラインナップの一部です。( )内は著者名

・国家(プラトン)・二十億光年の孤独(谷川俊太郎)・八日目の蝉(角田光代)・闇の奥(コンラッド)・精神現象学(ヘーゲル)・遠雷(立松和平)・かもめ(チェーホフ)・空飛ぶ円盤(ユング)・ダブリンの人びと(ジョイス)・論理哲学論考(ウィトゲンシュタイン)・女たちよ!(伊丹十三)・日の名残り(カズオ・イシグロ)・ツァラトゥストラ(ニーチェ)・羊をめぐる冒険(村上春樹)・ロング・グッドバイ(チャンドラー)・星の王子さま(サン・テグジュペリ)・かもめのジョナサン(リチャード・バック)・不思議の国のアリス(キャロル)・蛇にピアス(金原ひとみ)・ためらいの倫理学(内田樹)・人はなぜ戦争をするのか(フロイト)・華麗なるギャツビー(フィッツジェラルド)・イスラーム文化(井筒俊彦)・仮面の告白(三島由紀夫)・アンドロイドは電気羊の夢を見るか?(フィリップ・K・ディック)・存在と時間(ハイデガー)・総員玉砕せよ!(水木しげる)・ひとりずもう(さくらももこ)・地獄の季節(ランボオ)・永遠の〇(百田尚樹)・カラマーゾフの兄弟(ドストエフスキー)・エリーゼのために(忌野清志郎)・手紙魔まみ(穂村弘)・砂の女(安部公房)ほか







【1階展示の様子】

【地階展示の様子】

今後も「かもめの書」はシリーズとして継続してまいりますので、どうぞご期待ください。

# きかちち

先日の中学生職場体験(マイチャレンジ)では、様々な図書館業務を経験しました。図書館Twitterでもご紹介しましたとおり、大行寺分館では、中学生がポップを書いてくれたり、折り紙を折ったりして、展示を華やかにしてくれました。期間中は、応援ならびに温かい目で見守ってくださり、ありがとうございました。

 令和元年10月1日 発行

 編集
 集 図書館だより編集委員会

 発行
 白鷗大学総合図書館

 〒323-8586
 栃木県小山市駅東通り2-2-2

 ホームページ
 http://hakuoh.jp/library/index.html

 印刷
 第一印刷株式会社

図書館だより

# 

## 図書館の充実・3つの雑感

法学部教授 石 川 信



大学の総合図書館は、その大学の歴史と実績を 象徴する「知の殿堂」である。歴史ある大学の図 書館は、施設の外観も興趣深く、蔵書も多い。教 育実績ある大学の図書館は、サービスの質が高 く、館内に活気が溢れている。

白鷗大学の総合図書館は、大学創立以来の35年間、大学の発展とともに、施設を整え、蔵書を増やし、サービスを充実させてきた。蔵書数は約25万冊で洋書専門誌も多い。専門司書は約10名で対応も親切である。フロアは広く試験中でも席に余裕があり、学生の評判も良い。大学の勢いを感じさせる図書館である。それでもまだ中規模の大学図書館である。

私は、若い頃、英国の大学に留学したが、その大学の図書館は800年の歴史があり、蔵書は800万冊(開架200万冊)、地域別・専門別に専門司書(ライブラリアン)がいる。学生、研究者だけでなく、一般市民も利用している。そして観光客が連日訪れる。そんな私の経験から、白鷗大学の総合図書館に期待することを3つ雑感してみた。

1つは「蔵書の充実」である。知の収集・管理・利用の方法は、パソコン、インターネット、各種メディアの登場で多彩な時代になったが、その基本は「書籍」である。書籍の充実は、大学へ

の信頼や学究の意欲を高める。図書館としては、 時事情報とは別に、とくに専門古書の収集を心が けたい。収集の心がけがあれば、専門古書は各界 からの寄付で少しずつ集まる。専門古書(レア ブック)の部屋を常設するだけで、大学の名声は 高まり、地域観光の名所にもなるだろう。

2つは「専門司書の気概」である。図書館の司書は地味な職務であるが、図書館充実のための企画仕事は盛りだくさんにある。どの分野であれ、専門職は、貴重な名誉を自負しているが、他方では激務を覚悟している。地域の図書館や博物館と連携しての見学ツアーを企画する、市民講座を主催する、大学出版局を兼務するなど、地域社会の啓蒙や学術の振興に貢献したいという気概がある。そのような気概に期待して、司書専門職を厚遇したい。

3つは「図書館利用の促進」である。学生には 大いに図書館を利用してもらいたい。思うに、学 生を図書館に誘うのはさほど難しいことではな い。私たち教員の心がけ次第である。英国の大学 では、担当教員が授業前に大量の指定図書や資料 一覧(reading list)を渡す。単なるレジュメ以上 である。その指定図書(資料)を読まなければ、 授業についていけない、レポートが書けない。そ のリストは半端な数量ではない。ネット情報だけでは賄えない。学生は必ず図書館に出かける。学生たちは、レポートや論文を提出し、最終試験に合格しなければ卒業できないのであるから、必死である。図書館としては、学生のニーズにどう対応したものか、と思案するほどであり、図書館が学生を誘う知恵を絞る必要はない。

実は、つい先年まで白鷗大学で開校していた法

科大学院の図書館利用はそのようであった。英国 の大学や日本の法科大学院の教育指導と、日本の 大学(学部)の教育指導は異なるといってしまえ ばそれまでだが、先進の大学に学び、法科大学院 教育の遺産を引き継いで、学部教育を充実させ、 図書館利用の活性化を試行錯誤したいものであ る。つい老婆心ながらの一言で、わが身の不行き 届きを顧みない雑感で恐縮・・・。

## 令和元年によせて

~古と今とそれなんそ異ならむ~

教育学部准教授 伊 崎 純 子

「世紀末によせて」という拙文を本学図書館だより第15号(2000年4月)に掲載いただいてから20年近い月日が経ちました。「ノストラダムスの大予言」(本学図書館には所蔵なし)の不穏なバウンダリーを飛び越え、平成を過去にみて、時は令和となった今年度より再び図書委員として召集され、図書館だよりを書く機会をいただきました。令和は万葉集(関連図書は大行寺分館に79冊、本館に18冊)から選定された元号であることはご承知の通りです。

インターネットは便利なツールです。「令和」で ググれば、その原文は「万葉集 梅花歌三十二 首 并 序」だと瞬時に判明、以下の原文および現代 語訳・口語訳にも当たります(http://manapedia. ip/text/5673, R元年5月13日他参考)。

#### 【原文】

天平二年正月十三日に、帥老の宅に萃りて、宴會

### 【現代語訳】

天平二年正月十三日(西暦730年2月8日)に、太宰府の長官の大伴旅人の家に集まり、梅花の宴を開く。季節は、初春のよい月で、大気もよく風も穏やかになり、梅の花は鏡の前(に座る美女たちが化粧に使う)白粉のように(白く)咲き、蘭は(身を飾った)香のように薫っている。



[曼朱院本] 萬葉集の巻五 梅花謌卅二首并序(梅 花の歌 三十二首、并序) / 京都大 学附属図書館所蔵

太宰府は太宰府天満宮を有する高名な福岡県の 観光地ですが、今年は例年にない賑わいだそうで す。祀られているのは「天神さま」「学問の神 様」で知られる菅原道真公(大行寺キャンパスに 関連図書2冊。うち一冊は「怨霊とは何か:菅原 道真・平将門・崇徳院」!!)です。皆さんも入 試の前に一度は拝んだことがあるのでは? 京都 の北野天満宮、東京の湯島天満宮(湯島天神)に も同じ神様が祀られています。無実の罪で九州に 左遷され、京都を離れるときに詠んだと言われる 歌が有名です。

東風吹かば 匂ひおこせよ 梅の花 あるじなしとて 春な忘れそ

主人である道真公を慕って京都から福岡に追い飛んできたといわれる飛梅が咲く頃、敷地内の梅花の下、宮中行事である曲水の宴が太宰府でも行われます。上流より流れてくる酒杯が自分の前を過ぎる前に和歌を作りお酒をいただく、平安装束が雅なコスプレ感の強い催しですが、厳粛たる森を養されてすが、厳粛たる森を養されてする。 (https://www.dazaifutenmangu.or.jp/sanpai/saiten/special/kyokusui)。

「安易さ」や「便利さ」が「手間暇をかけること」を凌駕する昨今ですが、容易でないものを自ら知る喜びを学ぶ場所が大学なのではないかと思います。現地に身をおき体感することが難しい時は、世界を広げ心を掘り下げる図書や映画、重厚な理論や名著に接し、「今ここ」にいつか繋がるトリップならぬワープを楽しみたいものです。

### 関連図書紹介

■怨霊とは何か: 菅原道真・平将門・崇徳院 山田雄司著, 中央公論新社, 2014 (中公新書: 2281). 大行寺分館一般書架 210.04/新

#### ■ 摂関政治と菅原道真

今正秀著. 吉川弘文館, 2013 (敗者の日本史: 3). 大行寺分館一般書架 210.1/HA/3





### ■ 分館地階にランゲージ・コモンズが進化中!



大行寺分館の地階は、グループで会話しながら学習できるスペースですが、この一角に設けられた、英語教育のためのランゲージ・コモンズは、後期完成に向けて日々着々と進化し続けています。先日はリーディングスペースに曲がりくねったソファが入りました。それに合わせてラウンドの書棚が設置され、リーダー類も見易く配架されました。ゆったりとしたソファに座って、読みたいリーダーテキストをじっくり選ぶことができます。ランゲージコモンズには、他に英語による文章表現のためのライティングスペースと、英会話のためのスピーキングスペースを設ける予定です。今から完成が楽しみです。